

経理・税務



●期央での収支計画の見直し

3月決算の会社では、9月までの上期の実績を踏まえて、年度収支計画とその進捗状況を検討します。

売上・利益とも年度始めの計画から大きく乖離^{かいり}してしまっている場合、計画そのものを見直す必要があるかもしれません。

経理部門では、月次決算の実績・関連資料、景気見通しや業界動向などの各種データをそろえて、計画見直しの落としどころを探りたいところです。

また、売上が落ち込んでいても、極力、利益を確保するための対策を優先しましょう。利益確保のためには、採算分析が欠かせません。製商品・得意先ごとの売上や利益への貢献度を検討しましょう。

全社的な経費では、事務機器賃借料、事務用品費、諸会費、慶弔費など1つひとつを点検し、冗費圧縮に向けて取り組むことが大切です。

●資金繰り計画の策定

下期の製造・販売計画に基づいて、年末、年度末までの資金繰り計画を策

定します。特に年末は、歳末セールや賞与の支給などもあるため、資金手当てには注意しなければなりません。

上半期の業績が落ち込んでいる場合は、キャッシュフローを改善させるための方策に注力しましょう。

借入が必要になる場合は、金融機関に対し、早めに金額と時期を伝えましょう。「資金繰り表」「返済計画表」「業況説明書類」は、借入申込みの際に欠かせない資料です。

社内的には、収支計画などと比較させながら、何に資金を優先的に充当するかをチェックします。あわせて取引先の信用管理を徹底し、売掛金の完全回収に努めましょう。

●レクリエーション費などの経理処理

毎年、秋にレクリエーションを予定している企業も多いと思われます。

会社が支出した社員のレクリエーション費用は、原則として「福利厚生費」として処理します。ただし、金額や用途によっては、税務調査などで問題になる可能性もあります。実施内容やスケジュールに関する資料は、確実に保存しておきましょう。

また、夏から秋にかけては、地域の祭りや各種イベントが催されます。こうした行事などに対して支出した協賛金などの扱いにも注意が必要です。

●被災時の優遇税制の確認

9月1日は「防災の日」です。地震や火災、風水害など、非常時に対する備えを再確認しておきましょう。

会社や工場が被災して損害を被った際は、納税の猶予など、税制上の優遇措置が活用できます。

災害により申告・納付等をその期限までにできないとき（交通途絶等）は、所轄税務署長に申請し、その承認を受けることにより、その理由のやんだ日から2か月以内の範囲でその期限の延長を受けられます。手続きは、期限が経過した後でも行なえるので、被災の状況が落ち着いてから、最寄りの税務署に相談してください。

また、個人の住宅や家財などが被災した場合には、その被害額は雑損控除の対象として一定額の所得控除を受けられます。

被害額が資産の50%以上のときは災害減免法の対象ともなり、有利なほうを選択適用できることを、社員にアドバイスしておきましょう。

●中間決算棚卸の実施

帳簿に記載された在庫と実際の在庫数量は本来一致しているべきものですが、盗難、紛失、記帳ミスなどの理由から差異が生じることがあります。

そこで、定期的に実地棚卸を行なう

September

9月の事務ごよみ

必要があります。一般的には決算期末に実施しますが、3月決算の企業が中間決算に際して棚卸を行なう場合は、9月中に実施することになります。

作業範囲、数え方、棚卸表への記入方法を担当者にももって指示し、その理解度を確認しておくなど事前準備を万全にして効率よく進めましょう。

●税務調査への対応

秋は新事務年度の方針に基づいて、税務調査が本格化する時期です。

平日頃から正しい処理をしていれば、過度に恐れることはありません。税務調査の打診があったときは、きちんと説明できるよう準備しましょう。

人事・労務



●社会保険適用拡大への対応

ことし10月から、厚生年金保険の被保険者数51〜100人の企業でも、週の所定労働時間が20時間以上であること

・所定内賃金が月額8万8000円以上であること

・2か月を超える雇用の見込みがあること

・学生でないこと

を満たす従業員（短時間労働者）に、社会保険加入が義務化されます。

いまのうちから、パート・アルバイトの従業員にヒアリングを行ない、どのような働き方をするのか等を相談して、社会保険適用拡大に備えます。

なお、手当支給や労働時間延長等の取組みに対して、企業・従業員の負担を減らす各種支援策が展開されているので、確認しておきましょう。

●来春新卒予定者の採用活動

来春高校卒業予定者については、9月5日（沖縄県は8月30日）以降、学校推薦の応募受付が始まります。

9月16日からは、面接等による採用選考も可能になりますので、推薦文書や応募書類をもとに候補者の選考を進めましょう。重点校に絞って採用活動を行なうのも有効です。

大学・短大等卒業予定者の採用活動も大詰めを迎えます。内定後に辞退者が出ないよう、入社時期まで定期的なフォローを続けることも大切です。

●新標準報酬月額額の確認と通知

毎年「9月分」の給与から、定時決定によって決まった新しい標準報酬月額に基づく社会保険料の個人負担分を給与から控除することになります。

標準報酬決定通知書が届く時期ですから、社員それぞれに新しい標準報酬

月額を通知するとともに、被保険者台帳や賃金台帳を更新し、変更に備えましょう。

●労働衛生面のチェック

9月は、10月1日から始まる「全国労働衛生週間」の準備月間です。

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に毎年実施されています。

労働衛生面の管理不備から労災事故につながるケースは少なくありません。また、テレワークで働く社員に対しても、労働安全衛生法に従って、適切な健康管理対策が必要です。

あらためて、職場の作業環境や健康管理の見直しを図りましょう。

特にコンピュータ作業における労働環境の改善、テレワーク時の労働時間を適切に把握することは重要です。

また、従業員50名以上の事業場では、1年に1回ストレスチェックを実施する義務があります。

まだ実施していない事業場では準備を進め、実施後には適切なフォローを行なうようにしましょう。

●秋の健康診断の実施

秋は健康診断のシーズンです。健診

の実施にあたっては、早めに健診機関と日程等を調整のうえ、社員に日時・場所を周知徹底しましょう。

●社員の健康増進の推進

厚生労働省は、生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性についての国民1人ひとりの理解を深め、さらにその健康づくりの実践を促進するため、毎年9月1日から30日までの1か月間を「健康増進普及月間」と定めています。

社員に、生活習慣病や健康に関する情報や教育研修の機会を提供するなどして、各自のセルフケア意識を高めてもらいましょう。

●障害者雇用の促進

9月は「障害者雇用支援月間」として、障害者の職業的自立を支援するさまざまな啓発活動が展開されます。

ことし4月から、法定雇用率は2・5%、対象事業主の範囲は従業員数40・0人以上となっています。また、常用労働者数100人超かつ法定雇用率が未達成の企業は、障害者雇用納付金が徴収されます。

法定雇用率をこれから満たす必要のある企業は、自治体主催の合同面接会や障害者就職支援セミナーなど、この時期に実施される支援策の活用を考えるとよいでしょう。

●社員の異動状況の把握

秋は、春の年度替わりに次いで異動の多い時期です。

転勤や結婚などにより社員本人・家族の異動があった場合には、社会保険関係の法定事務のほか、住宅手当や家族手当の変更といった社内事務も発生します。社員から速やかに異動届の提出を受けるなど、手続きにモレがないようにしましょう。

総務・法務



●年度後半の業務計画の確認

年度収支計画の見直しを行なうとともに、年度後半の業務計画を再確認しておきましょう。年末の繁忙期に向けてこれから業務が立て込めますから、1つひとつの仕事（業務）を確実にこなしていくことが重要です。

●防火・防災訓練の実施

9月1日「防災の日」の前後にあたる8月30日～9月5日は「防災週間」と位置づけられ、各地で災害についての認識を深めるための防災フェアや、防災訓練などが行なわれます。

また、3、6、9、12月各月1日は防災用品点検の日です。非常持出し品

類などが期限切れになっていないか、必要なものがそろっているかなどを点検・確認するようにしましょう。

自然災害と感染症との複合災害を防止するため、マスクや消毒液、体温計なども用意しておくといよいでしょう。

●安全運転の徹底

9月21日から30日まで、「秋の全国交通安全運動」が実施されます。

業務中やマイカー通勤時に社員が交通事故を起こすと、業務への支障はもちろん、場合によっては会社使用者責任や運行供用者責任が発生する可能性があります。

自動車の使用状況の把握・社内規程の整備、車両の点検・整備を行なうとともに、加入保険等の状況を確認しましょう。

●衣替えの準備

多くの地域で、10月から冬服への衣替えが行なわれます。制服や事務服の着用を定めている企業では、9月中に必要な数量をチェックし、不足分の補充などを済ませておきましょう。

来月の計画を立てるために

▽労働者死傷病（軽度）報告（7月～9月分）の提出時期です

▽全国労働衛生週間が始まります（10月1日～7日）

September

9月の事務ごよみ



民族の音楽 セブダリンカ

ボスニア・ヘルツェゴビナの都市部で伝えられてきた、愛や喪失を歌うセブダリンカは、メランコリックな曲調が特徴。イスラームの音楽とバルカン半島のフォー

ク・ミュージックが融合して生まれた。ムスリムを中心に、キリスト教徒やユダヤ教徒、ロマの人々に歌いつがれてこんにちに至る。(切絵・文＝前田尋)

◆近江中山の芋競べ祭り

日時：9月1日

場所：滋賀県蒲生郡日野町

東西2つの地区で、里芋の根元から葉先までの長さ进行競い、農作物の吉凶を占う祭り。西が勝てば豊作、東が勝てば不作とされる。国の重要無形民俗文化財。

◆Factory Innovation Week 秋 2024

日時：9月4日～6日

場所：幕張メッセ

DX支援、見える化、生成AIなど製造業のサステナブルな成長を実現する810製品が出展される展示会。

◆海外ビジネス EXPO 2024九州

日時：9月10日

場所：福岡国際会議場

グローバル市場に進出するにあたって、販路拡大・人材確保・集客・コスト等の課題の解決を図る展示会。

◆釧路大漁どんぱく

日時：9月14日～15日

場所：北海道釧路市

釧路港を彩る花火大会と、農業・農村フェアからなる花火と食の祭典。名前は花火の「どん」という音と、おいしいものを「ぱく」と食べる音にちなむ。

◆熊野筆まつり

日時：9月22日

場所：広島県安芸郡熊野町

日本の筆の生産量の8割を占める熊野町で、日本三筆の1人である嵯峨天皇を偲び、また、筆産業を育てた先人たちに感謝して行なわれる筆の祭典。

◆マーケティング Week-大阪 2024-

日時：9月25日～27日

場所：インテックス大阪

販促EXPO、Web・SNS活用 EXPO など、マーケティングの手法やマーケティングの採用・育成等を学べる展示会。



Event guide